

常滑市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（案）に対するパブリックコメントの意見概要と市の考え方

No.	項目	ご意見の概要	市の考え方
1	第3章 計画の基本的な考え方 1(3) 地域包括ケアシステムの深化と推進	「互助」という言葉が出てきています。「自助・共助・公助」は今までも聞いてきましたが、「互助」が出てきた背景は。	地域包括ケアシステムを構築していくに当たり、生活における様々な課題を「4つの助（自助・互助・共助・公助）」の連携によって解決していくことが必要となります。「互助」とは、家族や友人、クラブ活動仲間など、個人的な関係性を持つ人間同士が助け合い、それぞれが抱える生活課題をお互いが解決し合うことです。NPOやボランティアなど地域住民による助け合いや見守り等が「互助」として想定されます。
2	第4章 分野別施策 I(3)3 参加促進に向けた動機付けの支援・推進	スマイルポイント事業を継続していますが、参加している人とそうでない人の熱量がかなり差があるようにみえます。ポイントによる景品も出ていますが、上限を設けるべきではないでしょうか。また、どのように参加を促すのでしょうか。	スマイルポイント事業の内容について、いただいたご意見を参考に社会福祉協議会と検討します。また、広報やホームページ、講演会や介護予防教室等の機会を活用して介護予防の必要性について周知し、生きがいくくりと社会参加の促進を支援します。
3	第4章 分野別施策 II(2)6 在宅医療介護連携の推進	「人生会議」という言葉が出てきます。具体的にどのようなことなのでしょうか。	「人生会議」とは、もしものときのために、自分が希望する医療やケアについて、大切にしていることや望んでいること等を前もって考え、家族等や医療・ケアチームといった周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することです。市では「人生会議」の普及に取り組み、地域における在宅医療介護の連携強化を進めます。

No.	項目	ご意見の概要	市の考え方
4	第4章 分野別施策Ⅲ(3)2 介護離職ゼロへ向けた取り組みの推進	「職場環境の改善に関する普及啓発」とあります。職場での休業補償や短時間勤務などが必要と思われませんが、具体的にはどのように行われるのでしょうか。	介護休業制度等の情報を国のホームページやチラシ等を活用して周知します。
5	第4章 分野別施策Ⅳ(1)1 認知症予防教室の実施	「運動教室で認知症予防プログラムを組み入れた運動を実施します。」とありますが、運動教室の普及はどのようにおこなわれますか。	認知症予防教室について、広報やホームページを活用して周知し、運動教室において県が推奨する「認知症予防プログラム」を組み入れ、認知症予防及び理解の普及啓発に取り組みます。
6	第5章 介護サービスなどの見込み量の算定 3(3) 第1号被保険者保険料	第1号被保険者保険料基準額(月額)5,600円は、第7期介護保険計画から比べると200円アップになります。準備基金からの取り崩しなどで対応していますが、低所得者にとって年金も減らされているなか、保険料を捻出するだけでも大変だと思います。 国に対して、第1号被保険者負担相当額の比率を下げ、補助・交付を増額するよう市からも求めて頂きたいと思います。	第1号被保険者保険料につきましては、消費税を財源とする公費を活用した低所得者の保険料軽減を実施しておりますが、保険料の上昇を可能な限り緩和するため、より効果的な介護予防事業の実施に努め、地域包括ケアシステムのさらなる深化、推進を目指します。
7	全般	年収が低いために1割負担でも介護サービスが受けられない、同じ敷地内に家族が住んでいるからと介護サービスが受けられないという声も聞きます。介護保険の狭間にいるような人たちへの介護サービスはどのように行われるのでしょうか。	制度や公的な扶助に加え、NPOやボランティア、地域住民による様々な助け合いや見守り等「互助」の視点も含めて構築される地域包括ケアシステムを推進することで、包括的な支援体制を進めます。